



真夜中の太陽

チキキ



おはよう
兄さん

今日はわたし
ヴァイオリンのお稽古で
帰りは遅くなります

夕飯の時間には
間に合わないので
先に食べていてください



トキ
トキ
トキ

は、はい…
志貴さま

秋葉、今日
遅くなるのか…
…あ、あのさ藤翠
今日は久しぶりに
門の前で出迎えて
もらえるかな？



トキ



あ…志貴さま
お帰りなさいませ



琥珀さんは？

ね、姉さんには
外向きの用事を
お願いしてあるので
帰りは遅くなる
と思います



翡翠…本当に
つけてきて
くれたんだね

は…はい
志貴さまがお望みに
なりましたから

おんおん



…だったら
今ここで見せてよ



覚悟は
できてるんだね

ゴゴゴ

かあ



今ここでですか？
ひ、人目もありますから…

なら、そのの
茂みじゃだめかな？

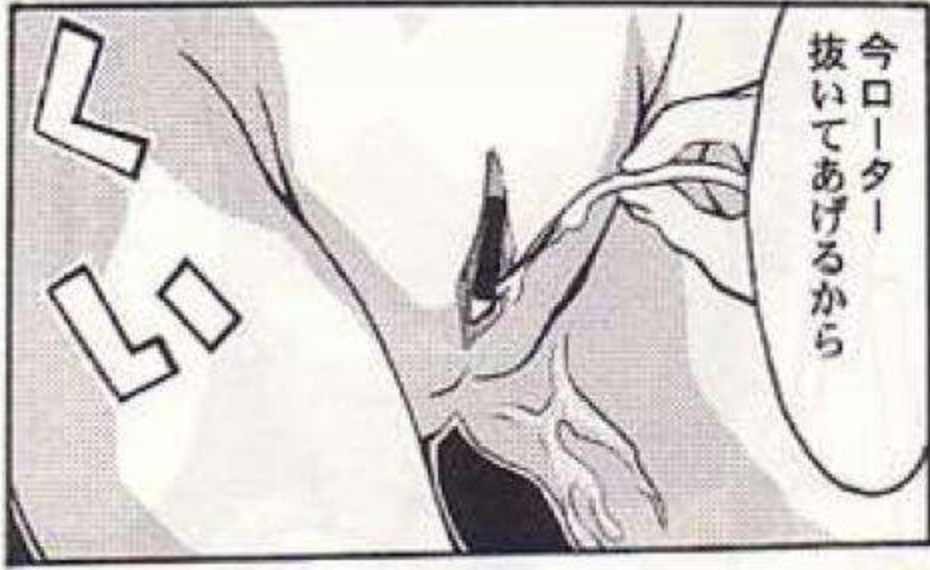


ん…あ
…わかりました



志貴さま
これでよろしいですか

は、恥ずかしいので
早く屋敷の中へ…



今ローター
抜いてあげるから



ちよつと
そのまま持っていて



すごいよ
もうびしょびしょじゃないか
こんなに濡らすなんて
翡翠はエッチな娘なんだね

志貴さま…いい、意地悪な
いいかたしないで下さい
翡翠はそんなエッチじゃ
ありません

志貴さま、そんな
トコ…クツ
あ、…舐めないで
下…さい…んっ

ブル
ブル

く
ちゅ
く
ちゅ

あ、あ……
志貴さま!!

ごめん翡翠
そんなに
気持ちよかったの？

俺もう我慢できない
みたいでさ
今度は
俺のをして欲しいんだ



ゴ
ク
ン
ゴ
ク
ン



ハ
ア
ハ
ア

で、では
志貴さま
失礼します

ゴ

ク

く
く
く

ん



ん...
ん...
ん...



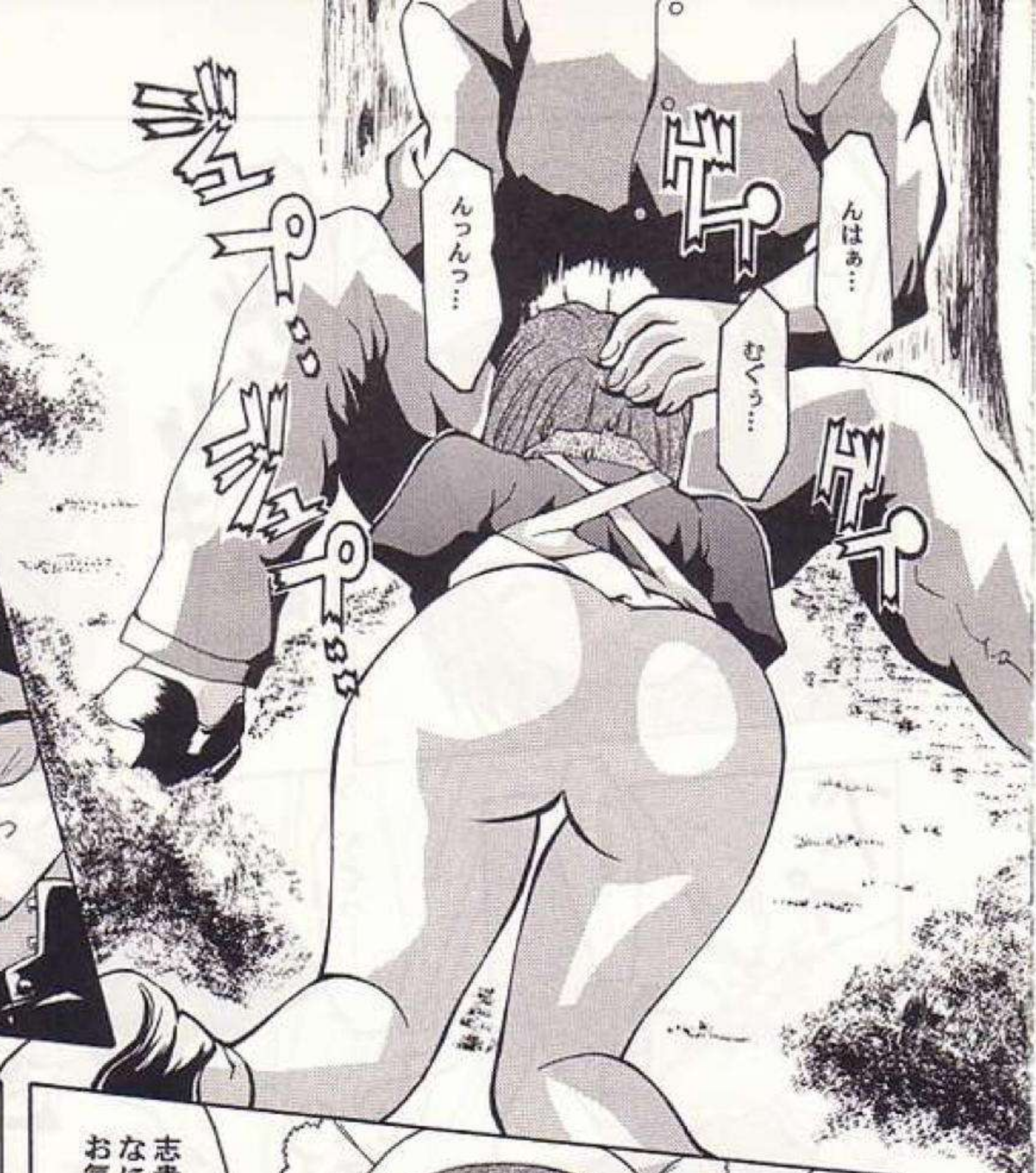
ん
ん
ん



ん
ん
ん



ちよつと翡翠
止めて、はいよ



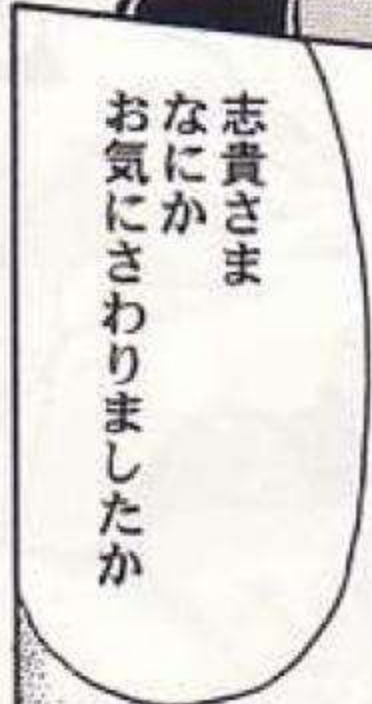
んはあ...

さへ...

んっんっ...



中に入れるから
そこに横になって



志貴さま
なにか
お気にさわりましたか





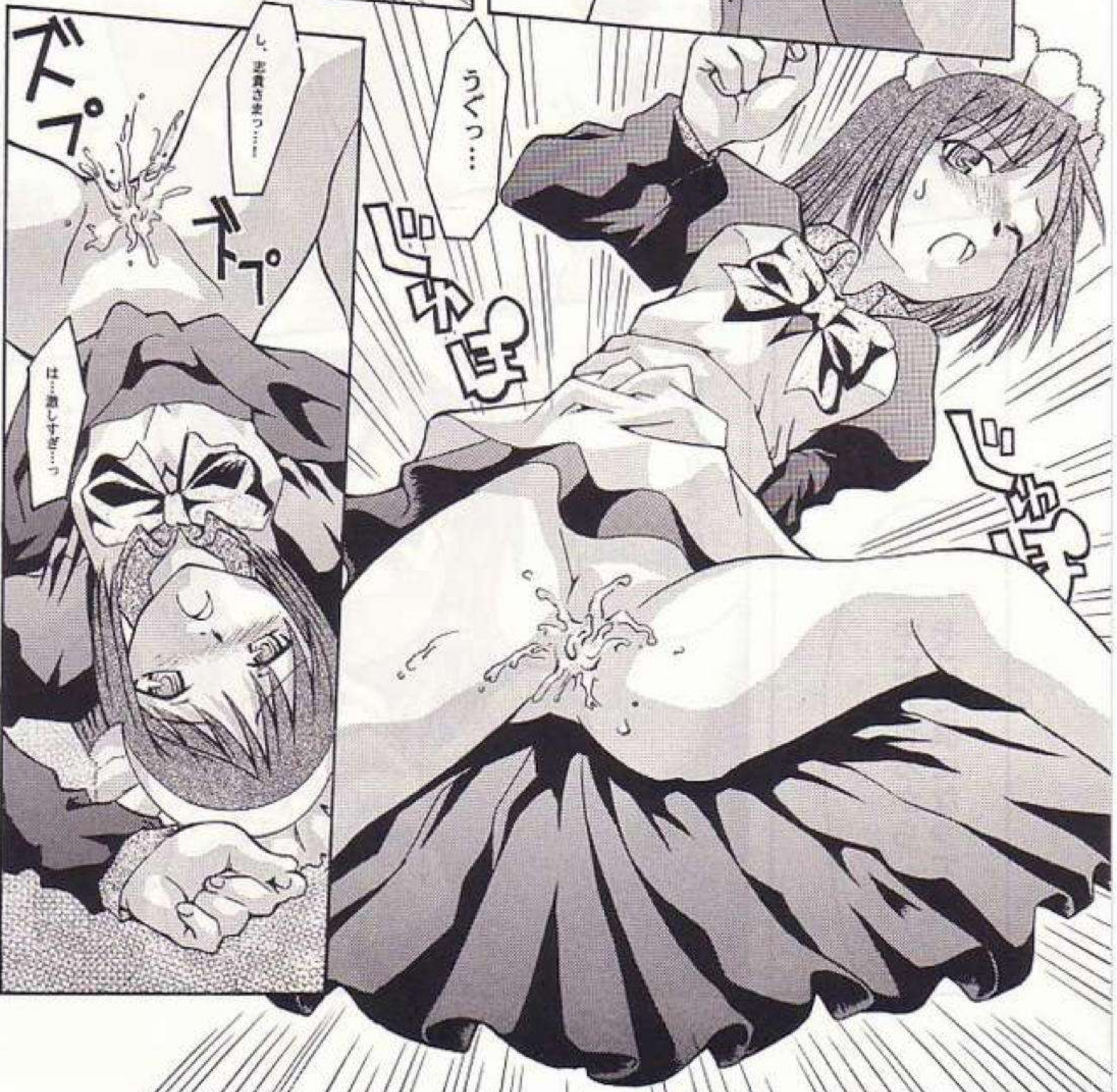
んっ!!



じゃ入れるよ
翡翠

ドキドキ

は、はい
志貴さま



トポ

トポ

うっ...

ゴキ

ゴキ

は...



はあ……

あうっ……ん



ズンズンズンズン
カチカチ



以前より
だいふ
ほぐれてきたね

し、志貴さま
ダメです……



大丈夫だよ翡翠
それよりも
声が漏れないように
注意するんだよ

動かないで
志貴さま
人の心配が……

なんなん……



ガガガガ



いったいどこへ
いったっちゃったの
かしら



志貴さーん
翡翠ちゃーん



翡翠ちゃん
お留守番している
はずなのに…
志貴さんも
まだ帰って
いないの…あつ



だめ…志貴さま
動かないで…

うく…うく…う

ん…

あん…くう…

声もれて姉さんに
聞こえてしまう…

あ、あ、あ



でもまあ
かくれんぼを
しているわけじゃ
ないんですから

こんなところに
いるはずも
ありませんか



志貴さま
ひどいです…

んんん。



琥珀さん
ようやく行ってくれた
でもけっこう
興奮しただろ、翡翠？



おっおっ

いないんじゃない
しかたありませんね
他をあたるとしましょう

私が嫌がつていることに
気づいていて
やめてくれないなんて…

こんな風になさるなんて
思っていませんでした

ごめん翡翠
俺ちよつと調子に
のりすぎてた



翡翠の困った顔が
あんまりかわいくて

少し意地悪を
してみたかったんだ

でもやりすぎたって反省してる
俺は翡翠の嫌がることを
したいわけじゃないし
翡翠の泣いている顔を
見たいわけじゃないんだ



だからさ、このことで
俺を嫌いだならないで欲しい

どんなに俺の心が夜の闇のように
暗く深くなっても
翡翠の持っている日向のにおいで
俺はあたたかくなれるんだ

翡翠は俺にとつて
太陽みたいな存在だから
いくら夜が明けて朝になっても
目が覚めたときに翡翠がいなくても
本当の意味で朝がこなくなってしまう

くそ

ありがとうございます
そんな風に思っていただけで
翡翠はうれしいです

でも違いますよ
わたしにとつての太陽が
いつも日向の匂いのする
志貴さまなんです
貴方がいなくなっただけで
わたし方こそ
永遠に夜が明けなくなっ
てしまいます

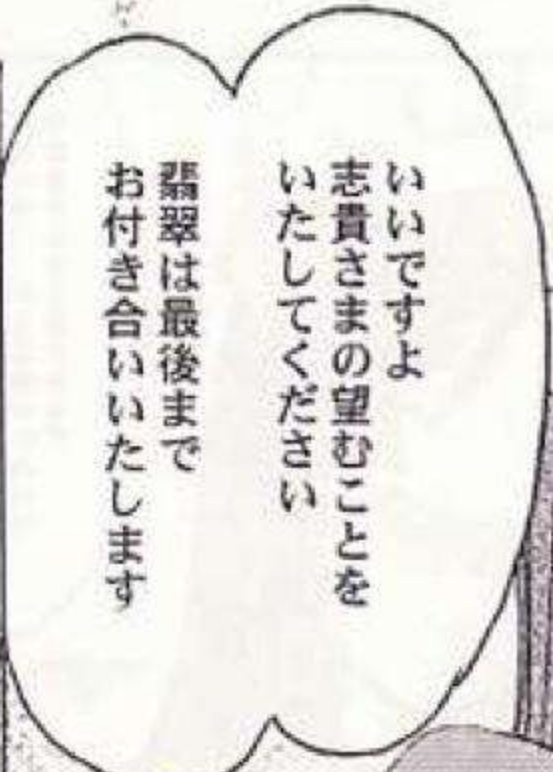
じゃあ翡翠…

はい、仲直りをしましょう
今日した意地悪は
許してあげます
ですから…



歯止めが利かなくなつて
どこまで暴走するか
わかんないよ？

翡翠それは反則だよ
そんなかわいいこと
いわれたら、俺



いいですよ
志貴さまの望むことを
いたしててください

翡翠は最後まで
お付き合いたいします

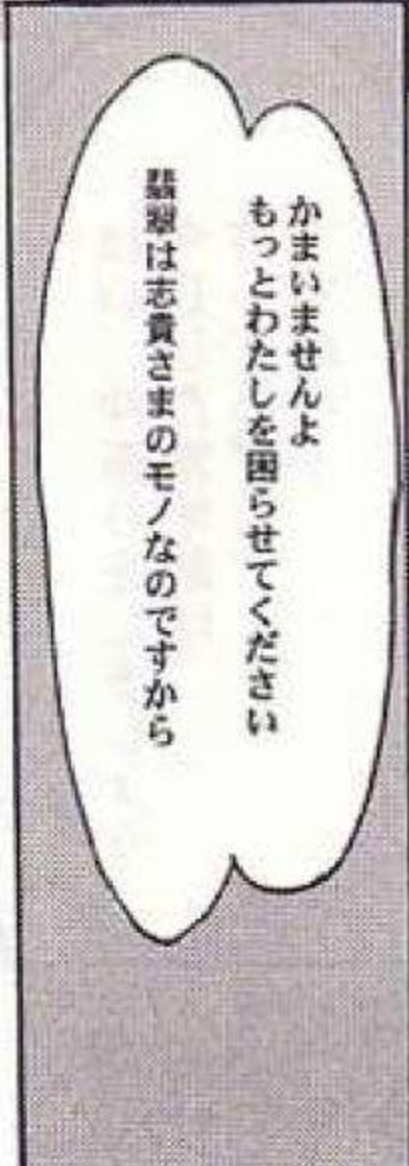


.....



は、はい……

よくいったね
じゃあ
たっぶりしてあげる



かまいませんよ
もつとわたしを困らせてください
翡翠は志貴さまのモノなのですから



あはあん...ん

や、あっ...ん

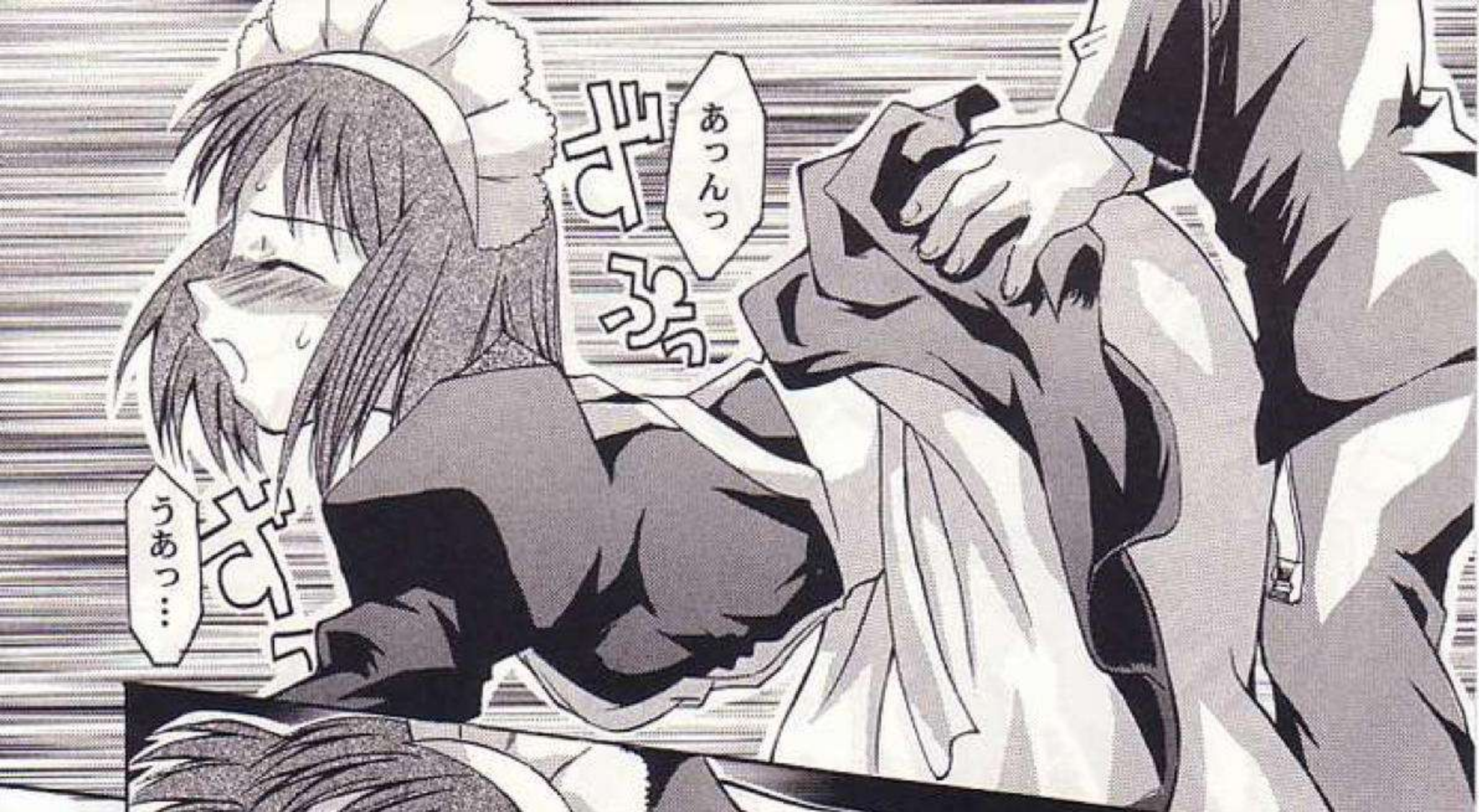


...志貴さま
ん、はあ...
もっと激しく
して下せら...



あっんっ

RIRI



あつんっ
ぎゅん

うめっ…



志…貴さま
あんっ!!

志貴さまあ!!

ズッ



わたし…もう

あつ…ダメ…あつ…

はあはあ
あつ…

志貴さまあ!!

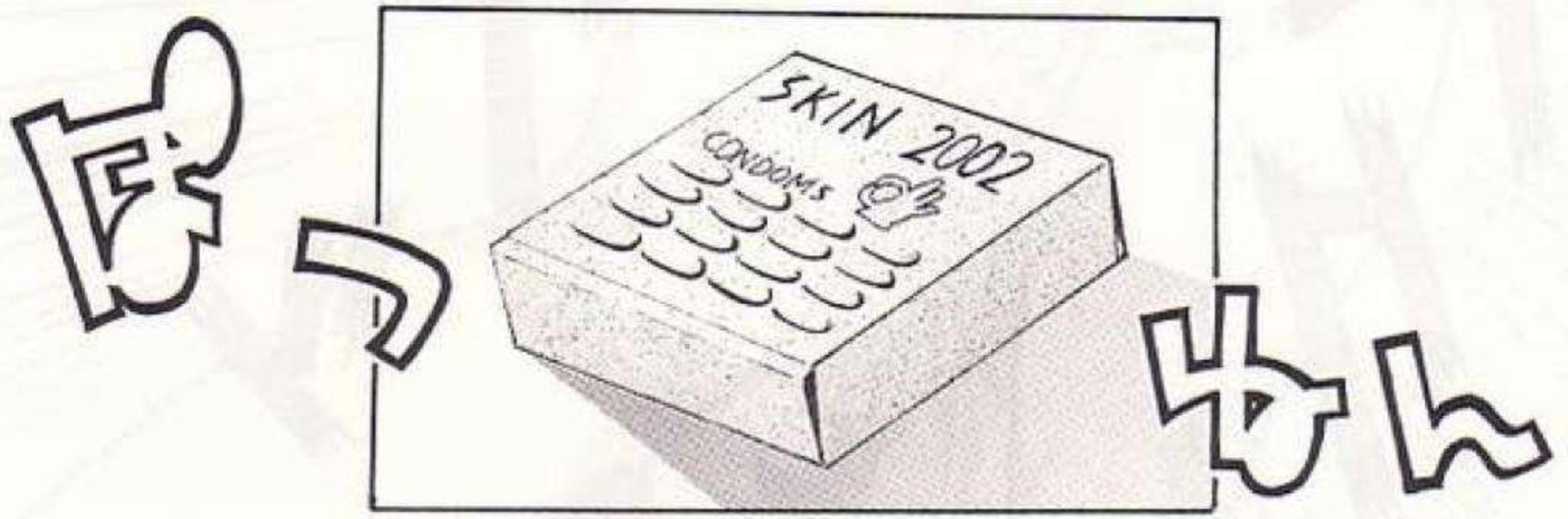




…しかし
志貴さま

その…これからも
外でやるといふのは

ああ、病室が騒がるなら
もうしないよ
病室に騒わたく
ないしね…ん？



し…志貴さま
これは…

やっぱり
バレてたんだらうね…

105-15-